

2011年4月30日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2011年4月30日】

団体名 特定非営利活動法人日本ペルー共生協会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

若者の自立支援に関するセミナー【Vamos jovenes(バモス ホベネス)】

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

日本生まれの日系人、幼少期に来日した日系人、学齢期途中で来日した人など様々な状況で育っている若者が思春期を迎えている。日本語の十分わからない親は彼らの教育に関して自信がない。また、日本語の部分で劣っている両親の言葉に耳を傾けない子どもも多い。子どもと親の現状を見るにつけ双方の文化と言語を理解した人がスペイン語・日本語で行う相談会の必要性を感じた。また当協会が長年積み重ねた実績を後に続く世代に伝えることも目標としている。日本社会において『研修を企画実施する学び』も含めることとする。今後定住するであろう移住者のための共生活動への一歩でもある。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

すべてスペイン語で4コースで構成された。

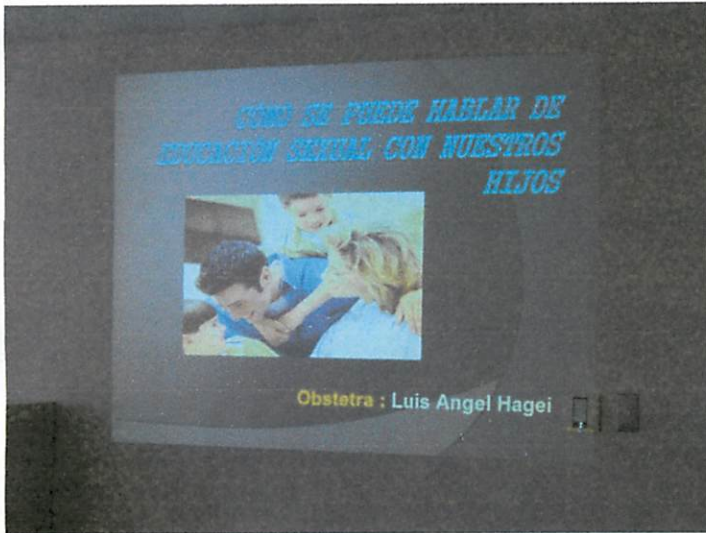
- 1) ペルーの医大卒で助産師と若者の性教育の資格を持つルイス・アンヘル氏: 若者対象に性教育シリーズ講演会2回、ミニ集会4回
- 2) ルベン・グスマン氏(ペルー工科大学卒東大で土木工学の博士号取得。JICA や日本政府の講座の講師を経験。自ら子育てを体験し、子どもの教育に積極的にかかわる。): 若者、保護者向け教育集会 3回
- 3) エルサ・トレス氏(ペルーカトリカ大学卒) 高橋悦子氏と共に教育および日本語とスペイン語環境の中で育つ子どものバイリンガル教育に関するアドバイスをを行う。: 教育相談 3回
- 4) ホルヘ・小林氏(秋田大学卒): 若者同士のスポーツでの交流会5回

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

- 1) 性教育シリーズ: 親と話すことの難しいテーマであったがミニ集会で質問や発言を気軽にすることができるような工夫を行った。特に若い男子生徒が喜んで参加した。
- 2) 若者、保護者向け教育集会: ルベン先生の人気は絶大で保護者からの信頼も厚い。自分も子育ての中で得た様々な体験を皆と共有できた。
- 3) 教育相談: スペイン語、英語の幅広い知識を生かして言葉の指導、アドバイスに親が耳を傾けた。
- 4) スポーツでの交流会: 1)のルイス先生の座学と組み合わせることで体を動かす交流会を行った。若い男子生徒はこのようなエネルギー発散の場も必要とのルイス先生のアドバイスによる。何人かの父親の参加もあり有意義な交流会が行われた。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

性教育に関しては保護者参加型2回、若者対象のミニ集会4回行った。取り扱いが難しいテーマではあったがこのようなテーマをスペイン語で行うことに対して保護者からは感謝の言葉が多く寄せられた。教育集会、教育相談は常に人々の関心が高い分野である。スペイン語学習に関する質問や進学を中心に勉強方法などの質問が数多く寄せられた。ルイス先生のアドバイスによる父親と共に行うサッカーでは皆が一つになって汗を流した。父親からのスペイン語での指導もあり親としての本領も発揮でき意味のある交流会になった。



町田市民フォーラムの講演会



町田市民フォーラムルイス先生の講演会



愛川の保護者達